

# 未来に伝えたい「まいばらの水」12選

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。このコーナーでは、「未来に伝えたい。まいばらの水」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしてきましたが、7月からは番外編として、地域と水の関わりについてお届けしています。

番外編⑥

vol.17



まいばらの水  
イメージキャラクター  
スイナちゃん

## 生命を育む水

水は、地球上のありとあらゆる生命の源です。かつて、市内の小さな川にも、琵琶湖から遡上したビワマスやアユ、ウナギ、溪流で育つイワナなどたくさんの魚がいて、ホタルの乱舞もあちこちで見ることができました。しかし、治水対策として河川改修が行われ水循環が断たれたことや、人間活動による水質の悪化などにより、徐々にその姿を見ることができなくなってきました。

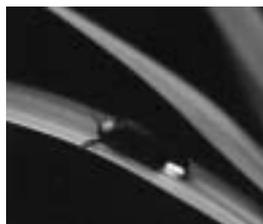
このような中、市では平成19年に旧山東町の条例を受け継ぐ形で、「蜚保護条例」を制定し、市民と共にホタルのすめる環境づくりに努めています。



▲ 近年、市内の川の多くが  
コンクリート三面張りに...



▲ 堰堤により魚が遡上できない川



▲ ホタル



▲ ビワマスの稚魚



▲ 地蔵川に揺れる梅花藻



▲ 魚道を元気に遡上するビワマス (天野川)

ます。天野川やその支流では、長年の保護活動が実り、たくさんのホタルを見ることができるようになりました。伊吹山と霊仙山の石灰岩層からのカルシウム分の多い水量豊かな水が、エサのカワニナの生育を促していることも大きいと言えます。また、市では平成23年に「天野川ビワマス遡上プロジェクト会議」を設置し、ビワマスが生育できる河川環境づくりを目指しています。

かもしられません。人間の都合だけを優先した結果、水が生み出す多様な生態系が失われてきました。しかし、豊かな水環境を取り戻そうという動きも始まっています。